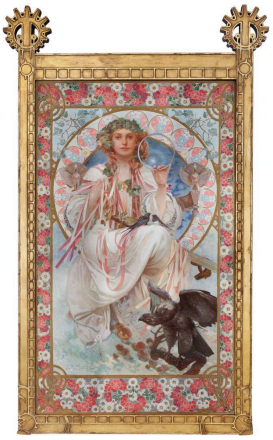
プラハ, チェコ

プラハ国立美術館： 名作

ミュシャ、シュパーラ、マジャーコヴァーらチェコの画家と、レーピン、ピサロ、ルソーの作品を並べて見る、コレクションの二十点

AI翻訳を使用



プラハ国立美術館のコレクションは、中世ヨーロッパの絵画から近現代美術までに及び、とりわけチェコの作家の作品が充実しています。ミュシャについては、名前だけを知っている人も多いでしょう。ここではその作品を、カレル・シュピラル、ペパ・マジャーコヴァー、オタカル・レベダ、ヨジャ・ウプルカなど、チェコの地の外ではあまり知られていないかもしれない画家たちとともに、この地域の絵画のより広い歴史の中に位置づけます。今回の選定で最も作品数が多いのは、ヴァーツラフ・シュパーラです。その色彩を、画家自身の顔、エヴァの身体、道、そして洗濯する女性たちへとたどるのに十分な点数が揃っています。

ほかにも、レーピンが描いた母の肖像、ピサロによるポントワーズの風景、パリを背にしたアンリ・ルソーの自画像があります。この二十点には古い時代から比較的新しい時代までの絵画が混在し、ひとつの物語を語るわけではありません。それでも、いくつかの共通する糸が通っています。仕事中の自分を描く画家、スラヴィアや「ローマの慈愛」という既存の物語の役を演じる実在のモデル、そしてパリの展覧会から町外れの日曜日まで、公共の場に集まる人々です。

Artlineは美術館とは独立して、所蔵が記録されている作品の中からこれらを選びました。年代や作者の帰属については、リンク先の記録にある留保をそのまま保持しています。

アートラインでこのセレクションをご覧ください

選定された作品を、同時代の書籍や出来事と並べてご覧いただけるほか、アーティストの生きた時代を比較することも可能です。ここで紹介する書籍や出来事は、あくまで背景情報を示すものであり、直接的な影響の証拠ではありません。制作年代が特定されていない作品も、本ガイドに含まれています。

文脈の中の芸術作品　誰がいつ生きたのか?

artlines.org/guides/national-gallery-prague

作品一覧・20

1. Josephine Crane-Bradley as Slavia
   Alphonse Mucha · 1908
2. Czech Heart
   Alphonse Mucha · 1917
3. Self-Portrait from Île Saint-Louis
   Henri Rousseau · 1890
4. Tatyana Repina, the Artist's Mother
   Ilya Repin
   Илья Ефимович Репин
   · 1867
5. The Gardens of l'Hermitage, Pontoise
   Camille Pissarro · 1867
6. Nocturne
   Robert Macaulay Stevenson · 1893
7. A Road on Lopud
   Václav Špála · 1915
8. Eve with an Apple
   Václav Špála · 1911–1912
9. Self-Portrait
   Václav Špála · 1908
10. Three Washerwomen
    Václav Špála · 1913
11. At an Exhibition in Paris
    Karel Špillar · 1906
12. In a Café
    Karel Špillar · 1904
13. Children Receiving Breakfast
    Ferdinand Georg Waldmüller · 1859
14. Count and Countess von Hartig as Roman Charity
    Krafft Barbara · 1797
15. Diogenes
    Maximilian Pirner · 1893
16. Evening Silence
    Antonín Hudeček · 1900
17. Self-Portrait with Her Father
    Pepa Mařáková · 1896
18. Mountain Lake in the Giant Mountains
    Otakar Lebeda · 1896
19. Moravian Slovak Madonna: Moravian Song
    Jožа Uprka · 1902
20. Sunday on the Periphery
    Georges Kars · 1920

01 / 20

Josephine Crane-Bradley as Slavia

Alphonse Mucha

1908 · National Gallery Prague



Alphonse Mucha. Portrait of Josephine Crane-Bradley as Slavia. Image credit: Alphonse Mucha; Source credit: Národní galerie v Praze. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

ジョセフィン・クレーン＝ブラッドリーは実在する特定の女性であり、この絵でもその人としての姿を見て取れます。しかしミュシャは同時に、政治的、文化的な意味を伴う擬人像スラヴィアの儀礼的な衣装と象徴物を彼女にまとわせています。その衣装と構図によって、彼女は個人の枠を超えた、公的で象徴的な役割へと引き上げられています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 3978

02 / 20

Czech Heart

Alphonse Mucha

1917 · National Gallery Prague



Alphonse Mucha. Czech Heart. Image credit: Alphonse Mucha; Source credit: National Gallery Prague. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Proportional resize and JPEG compression; full source frame retained. · Public domain

スラヴィアの肖像が衣装と象徴物に頼るのに対し、《チェコの心》はそれらを用いません。女性の下ろした手と子供の華奢な身体が、強い立場の人物が弱い立場の人物をいたわる、単純で対等ではない関係をつくっています。題名は大きな意味を掲げていますが、ミュシャはそのすべてを、二人の人物とひとつの身振りに託しています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 3641

03 / 20

Self-Portrait from Île Saint-Louis

Henri Rousseau

1890 · National Gallery Prague



Henri Rousseau. Self Portrait from L'ile Saint Louis. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

ここでは《サン・ルイ島での自画像》として挙げていますが、美術館での題名は《私自身：肖像—風景》です。この絵はその両方でありながら、比重は同じではありません。ルソーはパレットと筆を手に、大きく暗い姿で前景に立っています。背後の街はすぐにパリとわかりますが、街が彼の大きさを決めているわけではありません。画家の姿は街を圧するようにそびえています。題名では肖像が風景より先に置かれ、絵も同じ優先順位を示しています。

作品情報の出典 · 作品を開く

04 / 20

Tatyana Repina, the Artist’s Mother

Ilya Repin

Илья Ефимович Репин

1867 · キャンバスに油彩 · National Gallery Prague



Ilya Repin. Tatyana Repina, the Artist's Mother. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/ilya-repin/tatyana-repina-the-artist-s-mother-1867 · Public domain (WikiArt source label)

レーピンは母の姿に間近まで迫っています。ショールが顔を包み、手や身体の大部分は画面の外に切り落とされています。この肖像を成り立たせているのは、ごくわずかなものです。いくつかの顔立ちと、それを縁取る布だけなのです。

作品情報の出典 · 作品を開く

05 / 20

The Gardens of l’Hermitage, Pontoise

Camille Pissarro

1867 · キャンバスに油彩 · National Gallery Prague



The Gardens of l'Hermitage, Pontoise. WikiArt; Camille Pissarro. Proportional resizing and JPEG compression; source frame preserved. · Public domain

題名にある庭園は、人が耕す土地です。壁や小道、作物を植えた区画がレルミタージュの丘陵を分けており、働く人々の小さな姿を見つけるより先に、その整然とした配置が目に入ります。眺めの大半を木々、家々、空が占めていても、庭園や集落がその中に埋もれることはありません。ピサロはそれらを明確に見分けられるように描いています。

作品情報の出典 · 作品を開く

06 / 20

Nocturne

Robert Macaulay Stevenson

1893 · National Gallery Prague



Robert Macaulay Stevenson. Nocturne. Image credit: Robert Macaulay Stevenson; Source credit: National Gallery in Prague. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

ここで利用できる複製画像は白黒だけなので、スティーヴンソンの色彩を確かめられるのは、作品そのものの前に立つ人に限られます。それでも、画面の構成は伝わってきます。木々とその映り込みが、水面を囲んで互いに対応する暗い形をつくっています。明暗の幅が狭い中で、小さな明るい部分が際立ち、光の斑点は周囲の暗い部分によってその場に留められています。《夜想曲》という絵にふさわしい、抑制された表現です。

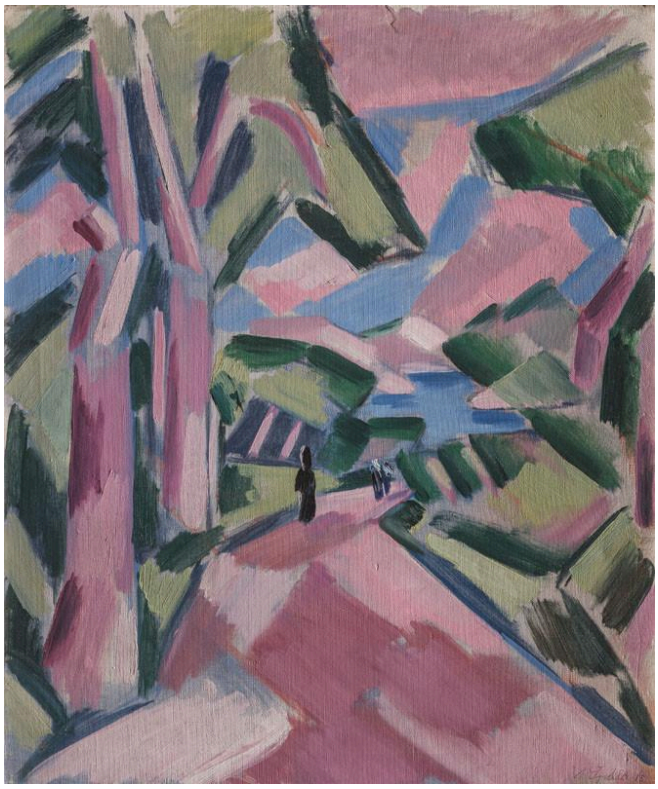
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 716

07 / 20

A Road on Lopud

Václav Špála

1915 · National Gallery Prague



Václav Špála. A Road on Lopud. Image credit: Václav Špála; Source credit: https://sbirky.ngprague.cz/dielo/CZE:NG.O_8598. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

道は風景の奥へと見る人を導くものだと思うかもしれません。ところが、シュパーラの道は何度も遮られます。角張った木々や、ピンク、青、緑の色面が道を横切るため、途切れずに奥へ続く通路にはなりません。情景は色彩から組み立てられていることを隠しませんが、それでもどのような場所かは見て取れます。

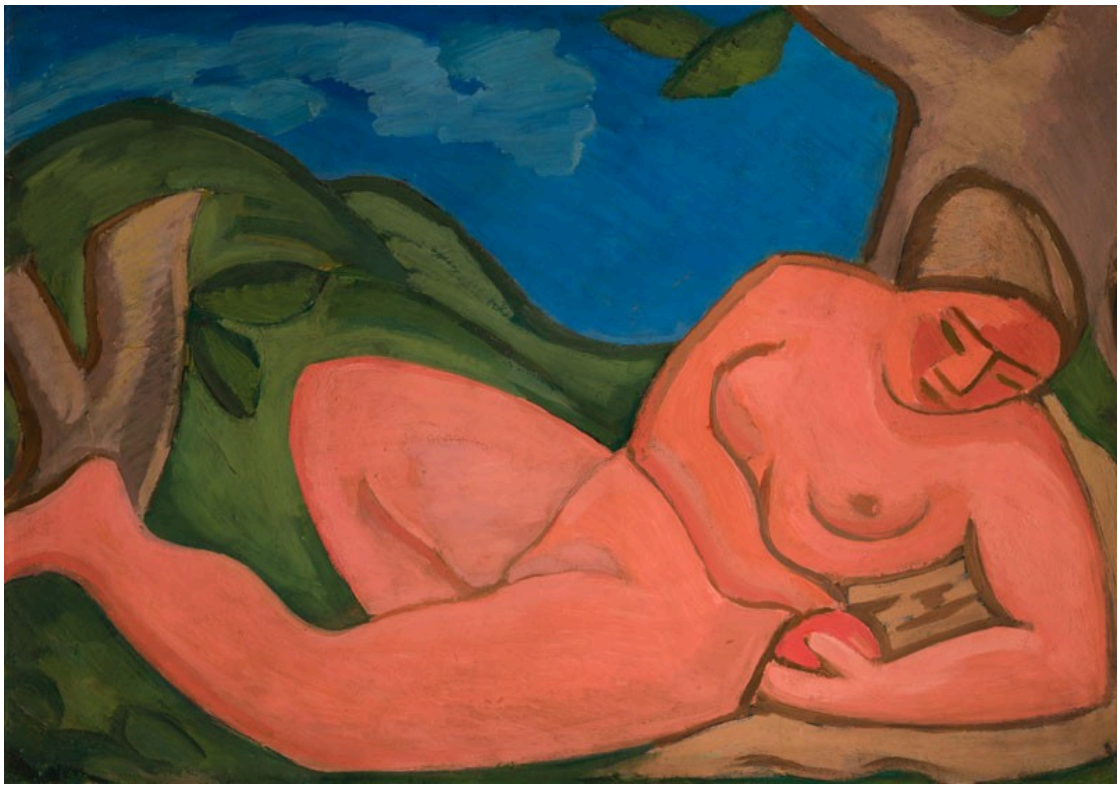
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 8598

08 / 20

Eve with an Apple

Václav Špála

1911–1912 · National Gallery Prague



Václav Špála. Eve with an Apple. Image credit: Václav Špála; Source credit: https://sbirky.ngprague.cz/en/dielo/CZE:NG.O_7979. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

シュパーラのエヴァは、暗い輪郭線に囲まれた大きな赤みがかったピンクの身体で、周囲の緑の斜面や青い空と同じだけの重みを持っています。広い色面は画面全体を通して、彼女を風景に結びつけています。一方、輪郭線は逆に働き、彼女を周囲から区別し、その姿を明瞭にしています。

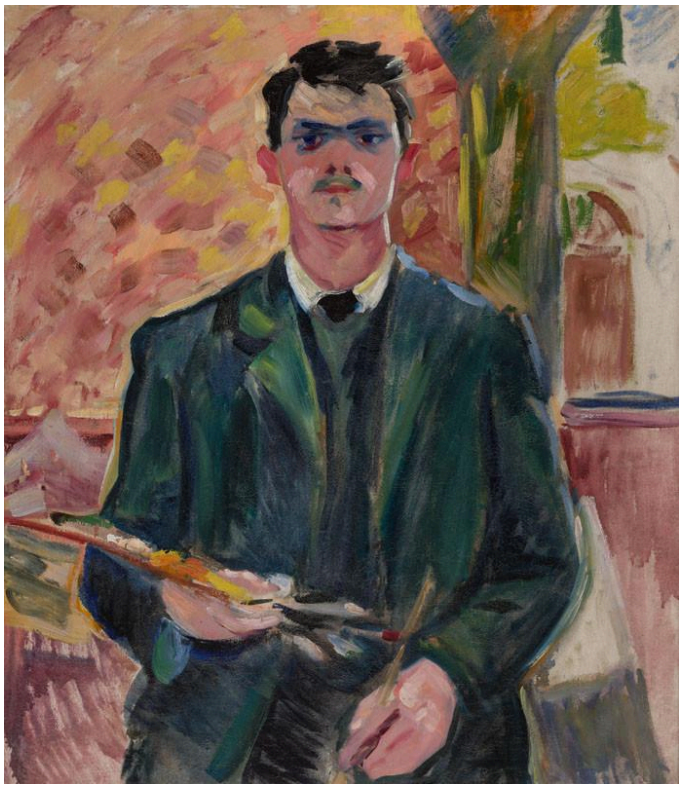
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 7979

09 / 20

Self-Portrait

Václav Špála

1908 · National Gallery Prague



Václav Špála. Self-Portrait. Image credit: Václav Špála; Source credit: https://sbirky.ngprague.cz/en/dielo/CZE:NG.O_3482. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

今回選ばれたシュパーラの作品の中では最も早い時期のもので、《ロプド島の道》を形づくる自由な色彩の扱いが、すでにここでは画家自身の顔に用いられています。顔の上を青と緑の区画が横切り、肌を描く通常の方法から離れています。膝に置かれたパレットが彼の職業を示し、その実践の場となっているのが顔なのです。

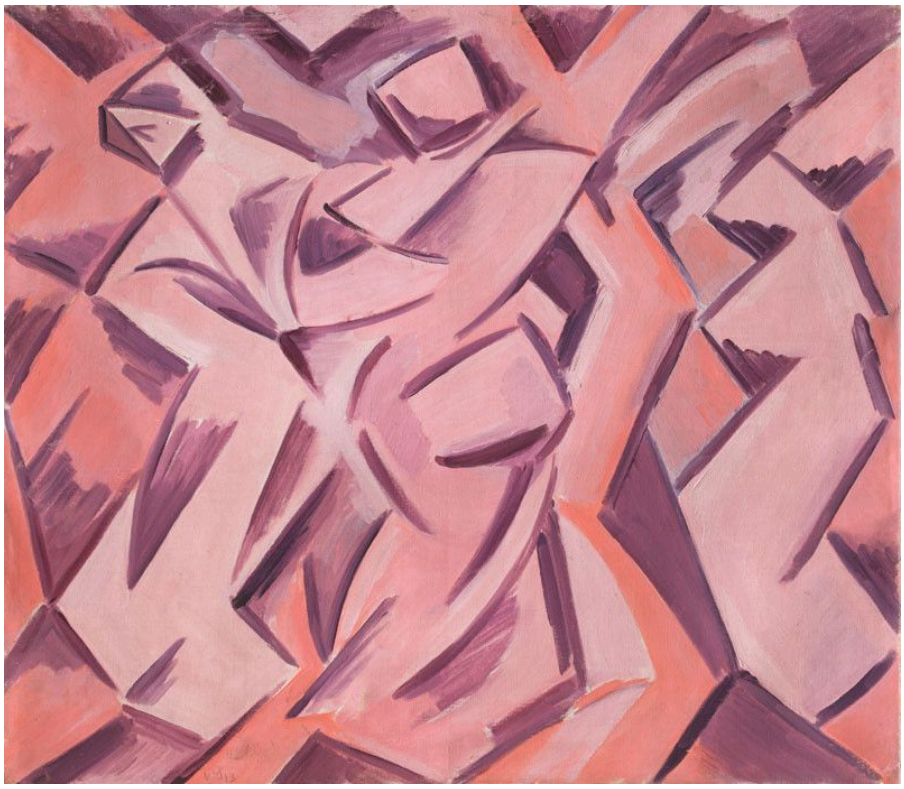
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 3482

10 / 20

Three Washerwomen

Václav Špála

1913 · National Gallery Prague



Václav Špála. Three Washerwomen. Image credit: Václav Špála; Source credit: https://sbirky.ngprague.cz/en/dielo/CZE:NG.O_9019. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

曲げた背中や腕が、角度を共有する模様の中で組み合わさり、三人の洗濯女は見分けにくくなっています。その模様は、仕事そのものの反復動作から生まれています。シュパーラは周囲の描写を切り詰めているため、私たちは日用品ではなく女性たちの姿勢から、洗濯の場面だとわかります。彼が描いているのは、個々の女性以上に労働そのものだとも言えるでしょう。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 9019

11 / 20

At an Exhibition in Paris

Karel Špillar

1906 · National Gallery Prague



Karel Špillar. At an Exhibition in Paris. Image credit: Karel Špillar; National Gallery Prague. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Karel_%C5%A0pillar_-_At_an_Exhibition_in_Paris_-_O_6492_-_National_Gallery_Prague.jpg. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Full-frame resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · Public domain

展覧会そのものは、ほとんど主題になっていません。シュピラルは、歩き、立ち、眺める来場者を描き、そのうち一人を前景の間近に置いています。絵画や展示台は、人々が集う場面の背景となっています。シュピラルの考え方に従えば、美術館でこのガイドを読んでいる人も、主題の一部なのです。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 6492

12 / 20

In a Café

Karel Špillar

1904 · National Gallery Prague



Karel Špillar. In a Café. Image credit: Karel Špillar; National Gallery Prague. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Karel_%C5%A0pillar_-_In_a_Caf%C3%A9_-_O_5283_-_National_Gallery_Prague.jpg. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Full-frame resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · Public domain

シュピラルはここでも、公共の場を共有する人々を主題にしていますが、その扱い方は異なります。展覧会の絵では、来場者が前景の間近に立っていました。ここでは帽子や花、カップがカフェらしさを生み、部分的に隠れた顔もあり、明るい色の衣服は周囲の暖色の筆触の中へと形を緩め、人物たちは室内に溶け込んでいます。同じテーブルを囲んでいても、この絵から特定の会話が聞こえてくるわけではありません。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 5283

13 / 20

Children Receiving Breakfast

Ferdinand Georg Waldmüller

1859 · National Gallery Prague



Ferdinand Georg Waldmüller. Children received their breakfast. Image credit: Ferdinand Georg Waldmüller; Source credit: repro from artbook. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

出入口が場面を明るい屋外と暗い室内に分けています。子供たちはその間のさまざまな位置に立ち、はっきり見える子もいれば、姿を捉えにくい子もいます。食べ物が彼らの間で渡されています。すでに自分の分を受け取った子も、まだ待っている子もいます。外壁のそばの少年は、より明確に離れて立っています。次に受け取る番なのでしょうか。それとも、そもそもこの集団の一員ではないのでしょうか。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 12502

14 / 20

Count and Countess von Hartig as Roman Charity

Krafft Barbara

1797 · National Gallery Prague



Barbara Krafft. Count Franz de Paula Graf von Hartig and his wife Eleanore as Caritas Romana. Image credit: Barbara Krafft; Source credit: kultura.zpravy.idnes.cz. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

バルバラ・クラフトはハルティヒ伯爵夫妻に「ローマの慈愛」の役を演じさせ、この絵を二人の肖像であると同時に、既存の物語を借りた場面にしています。姿勢を決めているのは物語です。夫妻は通常の夫婦の肖像よりも近くに座っていますが、その近さは主題に由来し、彼ら自身の人生に起きた何らかの出来事に由来するものではありません。ミュシャもジョセフィン・クレーン＝ブラッドリーに既存の役割を与えていますが、スラヴィアは彼女一人で担える擬人像です。「ローマの慈愛」は物語であり、それを演じるには二人のモデルが必要なのです。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 9690

15 / 20

Diogenes

Maximilian Pirner

1893 · National Gallery Prague



Maximilian Pirner. Diogenes. Image credit: Maximilian Pirner; National Gallery Prague. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Max_Pirner_-_Diogenes_-_O_5069_-_National_Gallery_Prague.jpg. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Full-frame resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · Public domain

ピルネルは画面を二つの領域に分けています。下では、年老いた哲学者が簡素な小屋のそばの荒れた地面で、樽の近くに身をかがめています。身体的な欲求を持ち、ひとつの場所に留まる老人です。その上では、宙に浮かぶ人物たちが自由に動けるように見えます。この絵はその対比によって成り立ち、頭上の人物たちが夢なのか、寓意なのか、それとも何かが現れた姿なのかは、定められていません。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 5069

16 / 20

Evening Silence

Antonín Hudeček

1900 · National Gallery Prague



Antonín Hudeček. Evening Silence. Image credit: Antonín Hudeček; National Gallery Prague. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Anton%C3%ADn_Hude%C4%8Dek_-_Evening_Silence_-_O_8411_-_National_Gallery_Prague.jpg. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Full-frame resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · Public domain

女性は谷の方を向いているため、表情は見えません。彼女は風景の一部であると同時に、それを見渡しています。一方、曲がりくねった小道が前景から遠方へ続きます。何も起こりません。題名にある静寂は、この配置だけから生まれなければなりません。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 8411

17 / 20

Self-Portrait with Her Father

Pepa Mařáková

1896 · National Gallery Prague



Pepa Mařáková. Self-Portrait with Her Father. Image credit: Pepa Mařáková; National Gallery Prague. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Pepa_Ma%C5%99%C3%A1kov%C3%A1_-_Self-Portrait_with_Her_Father_-_O_3591_-_National_Gallery_Prague.jpg. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Full-frame resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · Public domain

マジャーコヴァーに絵を教えたのは父でした。当時、女性はプラハ美術アカデミーに入学できませんでしたが、父は彼女が非公式にそこで学べるようにしました。その経緯が、二人の姿に重みを与えています。絵画の道具によって、この絵は家族の肖像であると同時に、ともに制作する場面にもなっています。二人の配置も示唆的です。父は娘の方を向き、娘はこの絵の作者として画面の外に顔を向けています。

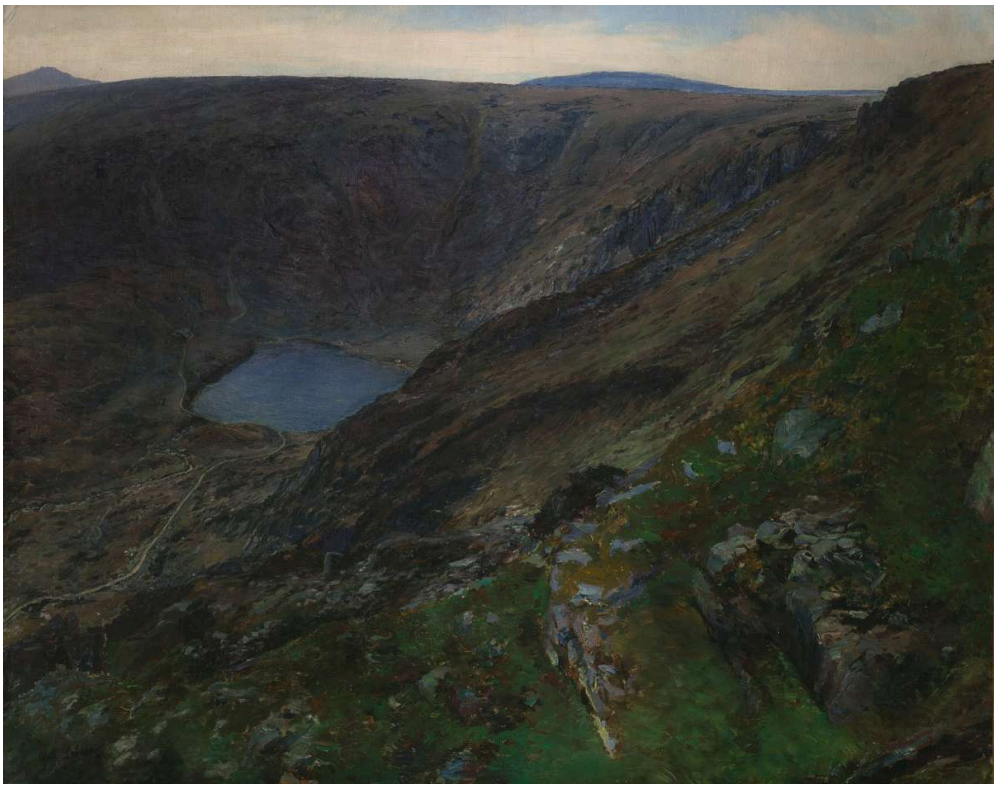
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 3591

18 / 20

Mountain Lake in the Giant Mountains

Otakar Lebeda

1896 · National Gallery Prague



Otakar Lebeda. Mountain Lake in the Giant Mountains. Image credit: Otakar Lebeda; Source credit: National Gallery in Prague. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

レベダの湖は低い場所にあり、急な斜面に囲まれています。手前の砕けた岩々が、視線が水面に届く前に、近くの荒々しい地形の大きさを感じさせます。距離を測る手がかりは、開けた展望ではなく地形です。フデチェクの《夕べの静寂》では、小道が眺めの奥へと導いていました。ここでは地面が幾重にも視界を閉ざしています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 3765

19 / 20

Moravian Slovak Madonna: Moravian Song

Jože Uprka

1902 · National Gallery Prague



Jože Uprka. Moravian Slovak Madonna (Moravian Song). Image credit: Jože Uprka; National Gallery Prague. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Jo%C5%BEa_Uprka_-_Moravian_Slovak_Madonna_(Moravian_Song)_-_O_3919_-_National_Gallery_Prague.jpg. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Full-frame resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · Public domain

ウプルカの題名は場所を強く打ち出しており、絵もそれを裏づけています。また、題名は聖母と歌を組み合わせ、三連画という形式はその両方を収める余地をつくっています。三つの画面を通じて、中央の信仰の対象となる人物と、地域の衣装を着た多くの人々に、それぞれ異なる度合いの注意が向けられています。そのためこの絵には、人々が共有する宗教的な中心と、共同の儀式に参加する群衆の両方が収められています。衣服と繰り返される身振りが、この集まりを特定の場所と習慣に結びつけています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 3919

20 / 20

Sunday on the Periphery

Georges Kars

1920 · National Gallery Prague



Georges Kars. Sunday on the Periphery. Image credit: Georges Kars; National Gallery Prague. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Ji%C5%99%C3%AD_Kars_-_Sunday_on_the_Periphery_-_O_12797_-_National_Gallery_Prague.jpg. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Full-frame resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · Public domain

カースは、日曜日に集う人々を、休んでいても移動していても、木々や地面と同じ角張った形で描いています。共通する角度はシュパーラの《三人の洗濯女》を思わせますが、カースはそれを人物から周囲の場全体へと広げています。人々が過ごす屋外の風景は圧縮され、誰かを際立たせる遠い背景もないため、人々は場所の一部として描かれています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録番号: O 12797

制作する三人の画家

ルソー、マジャーコヴァー、シュパーラは、それぞれ画家としての自分を描き、どの絵でも道具がその職業を示しています。ただし、そこでの自己主張は異なります。ルソーは大きさに頼り、街全体を背に自分の姿を置き、その街を上回る重みを与えています。マジャーコヴァーは、絵を教えてくれた父と道具を共有するという関係の中で自らを示しています。そのため彼女の絵は、職業とともに、教えを受けることをも主題にしています。シュパーラは方法を通じて自らを示し、自分の顔に置いた色彩によって、その仕事がどのようなものかを見せています。

関連書籍

Concerning the Spiritual in Art

Wassily Kandinsky; translated by Michael Sadleir · 無料で読む · 英語

マイケル・サドラーによる英訳で読めるカンディンスキーの著書は、色彩を文字どおりの描写から解放することを、その時代の立場から論じています。今回選ばれたシュパーラの絵画、たとえば《ロプド島の道》のピンクの色面や、《自画像》で顔を横切る青と緑の区画を考えるうえで、よい文脈となります。作品を解く鍵ではなく、その背景を与えてくれる本です。

博物館のウェブサイト · 公式コレクションガイド

情報源と訪問者情報は確認済みです。: 2026-10-12

AI翻訳を使用

Artline · プラハ国立美術館：名作